

レスパイトハウス やまぼうし



医療法人財団 はるたか会
前田浩利

ヘレン・ダグラスハウス

- シスター・フランシス・ドミニカによって1982年に設立された世界で最初の子どものホスピス
- 2004年に15歳から40歳までの若年成人対象のダグラスハウス設立
- ヘレンハウス8床、ダグラスハウス7床
- ケアはマンツーマン
- from home to home
- 使用料金は全て無料

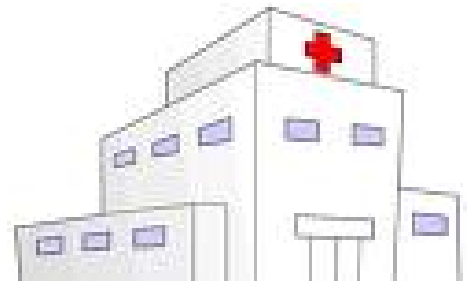





Helen & Douglas House
HOSPICE CARE FOR CHILDREN AND YOUNG ADULTS


Donate
Today

小児緩和ケアの連携の理想像



病院

連携



在宅

連携

連携

我が国では
レスパイト
が弱い



レスパイト施設（小児ホスピス）

ケアの三角形
Triangle of care

レスパイトハウス やまぼうし

日本初の医療的ケア児に対応する 福祉型短期入所施設

2022年7月1日開設



できるだけ、普段の生活をよく知っているケアスタッフがお世話し、いつも関わっている看護師がケアし、具合が悪くなったらかかりつけの医師が対応する。そんな環境をつくります。



レスパイトハウス やまぼうし 概要

住所:松戸市和名ヶ谷1230-1

※和名ヶ谷スポーツセンターそば

事業内容:福祉強化型短期入所事業

定員:10名

※個室 4室

多床室 2室(3名×2)

建設費用:231,633,422円

土地は地域の篤志家の方が月40万で借地で提供

事業開始:令和4年7月予定

レスパイトハウス やまぼうしの設立準備

「松戸市医療的ケア児者のためのレスパイト施設を作る会」

【参加者】

- ・あおぞら診療所新松戸利用家族
- ・松戸市肢体不自由児者父母の会
- ・株式会社アース(訪問看護等)
- ・一般社団法人幸樹会(訪問看護等)
- ・医療法人財団はるたか会職員

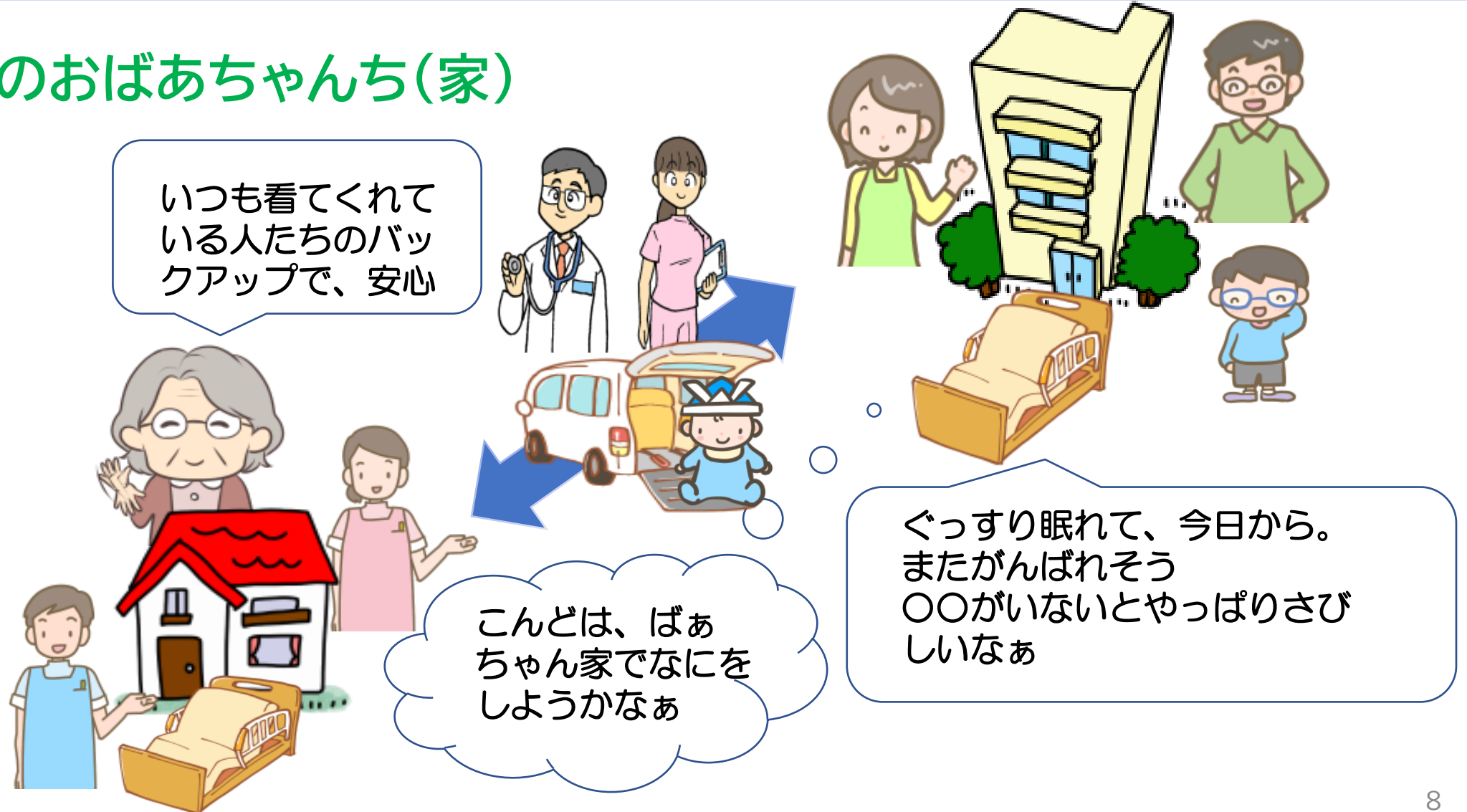
※松戸市障害福祉課

毎月1回定例会を実施し、協議、意見交換

(初回2019年6月27日 2022年3月現在 計28回開催)

やまぼうしのイメージ

まつどのおばあちゃんち(家)



いつも見てくれて
いる人たちのバック
アップで、安心

こんどは、ばあ
ちゃん家でなにを
しようかなあ

ぐっすり眠れて、今日から。
またがんばれそう
〇〇がないとやっぱりさび
しいなあ

やまぼうしの特徴

- 設計プランの段階から利用者の声を反映させた
- 日常生活の延長
 - 学校に通える
 - 家に近いので移動の負担が少ない
- 保育士、介護職が関わるので、遊びがある 子どもが楽しい
- 預ける親に罪悪感が少ない
- 普段診療している在宅医療機関が連携しているので、体調不良への対応が容易で家族、スタッフの安心感が強い
- 既に診療している患者さんを預かるので、事前に自宅訪問して家でのケアを家族に学べる
- 年齢制限が無く一度も子どもを預けたことのない家族に対応するので自立支援につながる
- 癌末期の子どもにも対応できる

やまぼうし 利用者の声

利用者様の(声)

私が入院するため、やまぼうしでレスパイトをお願いしました。レスパイトを利用するとき、ケアや体調のこと、退屈しないか等不安になるのですが、今回は事前に家での様子やケアを見てもらい、打ち合わせができたこと、息子をよく知る介護士さんや看護師さんがケアをしてくれたこと。また、あおぞら診療所と繋がっていることで安心して預けることができ、私も治療に専念できました。戴いた写真はどれも良い顔をしていたので楽しい時間が過ごせていたんだなとホッとしました。もちろん家に戻ってからの体調もバッチリで、ここならまたお願いしたいなと思いました。




先日はお世話になり、ありがとうございました。
スタッフさんが少ない状況の中にも関わらず、娘のみならず私まで良くしていただき、(まさか毎日湯船に浸かれるなんて！泣)
本当に感謝申し上げます。



娘の体調が100%完全じゃない中での利用で申し訳ありませんでした。今までの、手術入院・検査入院のトラウマで、医療・福祉施設に娘だけ泊らせることにとても不安だったのですが、最終日には体調ほぼ完全回復なことに感動。毎日午前午後しっかり遊んでくださることに感動。やまぼうしの皆様のご対応は毎月でもお世話になりたいと思うほどです。笑

すっかり安心できました。
是非やまぼうしの皆さんにまたお願いできれば嬉しいです。
本当にありがとうございます。

どうして福祉型短期入所にしたのか

	医療型	福祉型
メリット	<p>収益が高い (17,470円/日～30,100円/日 (重心児))</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅診療所でも開設できる ・スタッフの雇用に自由度が高い (医療職以外でもOK) ・建設コストを抑えられる (医療系設備が必須でない) ・年齢制限がない <p> 全国に広がる可能性がある</p>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・有床の医療機関でないと作れない (在宅診療所のような無床の医療機関は日中預かりのみ) ・介護職を雇用できない (介護スタッフは全員看護師資格が必要) ・建設コストが高額になる (医療系設備) ・年齢制限がある (19歳以下) ・利用できる子どもに一定の条件が必要 (市町村判断) ・在宅医療機関の往診が保険請求できない ・訪問看護の保険請求もできない 	<p>収益が低い (4,980円/日～9,030円/日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療機関の往診が保険請求できない (介護保険施設では可能) ・訪問看護の保険請求もできない (介護保険施設では可能)

福祉型人員基準

人員体制		福祉型短期入所		福祉強化型短期入所		やまぼうしの目標
		配置基準		配置基準		
	管理者		資格不要 0.5	資格不要 0.5		0.5
	看護師				1	5
	介護職		資格不要 6.5	資格不要 5.5		10
	保育士					2
	栄養士		必須ではないが 配置加算あり 1	必須ではないが 配置加算あり 1		1
	合計		8	8		18.5
人件費	管理者	400000	200,000	200,000		200,000
	看護師	500000		500,000		2,500,000
	介護職	350000	2,275,000	1,925,000		3,500,000
	保育士	350000				700,000
	栄養士	350000	350,000	350,000		350,000
	合計		2,825,000	2,975,000		7,250,000
管理費		収益15%	953,028	722,484		953,028
支出合計			3,778,028	3,697,484		8,203,028

人材育成、研修システムの
仕組みが必要

福祉型と福祉強化型の比較(基本サービス)

福祉型短期入所 (基本サービス)							福祉強化型短期入所 (基本サービス)						
		単価	人数/日	利用延日数	請求単位	収益			単価	人数/日	利用延日数	請求単位	収益
			定員10							定員10			
障害者区分	区分1	498	1	30	14,940	149,400	障害者区分	区分1	695		0	0	0
	区分2	498	1	30	14,940	149,400		区分2	695		0	0	0
	区分3	570	1	30	17,100	171,000		区分3	766		0	0	0
	区分4	634	1	30	19,020	190,200		区分4	829	1	30	24,870	248,700
	区分5	767	1	30	23,010	230,100		区分5	962	1	30	28,860	288,600
	区分6	903	1	30	27,090	270,900		区分6	1096	3	90	98,640	986,400
障害児支援区分	区分1	498		0	0	0	障害児支援区分	区分1	695		0	0	0
	区分2	602	1	30	18,060	180,600		区分2	798	1	30	23,940	239,400
	区分3	767	3	90	69,030	690,300		区分3	962	4	120	115,440	1,154,400
基本サービス合計			10	300	203,190	2,031,900	基本サービス合計			10	300	291,750	2,917,500

福祉型と福祉強化型の比較(加算、合計)

福祉型短期入所 (加算)						福祉強化型短期入所 (加算)							
	単価	人数/日	利用延日数	請求単位	収益		単価	人数/日	利用延日数	請求単位	収益		
		定員10						定員10	30				
加算	短期利用加算 (日)	30	10	300	9,000	90,000	加算	短期利用加算 (日)	30	10	300	9,000	90,000
	医ケア加算 (日)	120	10		0	0		医ケア加算 (日)	120	10	300	36,000	360,000
	重度障害児障害者 対応支援加算 (日)	50	10		0	0		重度障害児障害者対応支	30	10	300	9,000	90,000
	単独型加算 (日)	320	10	300	96,000	960,000		単独型加算 (日)	320	10	300	96,000	960,000
	単独型加算 (18時間越え)	100	10	300	18,000	180,000		単独型加算 (18時間越え)	100	10	300	18,000	180,000
	医療連携加算 (日) 4時間未満	1000	10	100	100,000	1,000,000		医療連携加算 (日) 1人	2000	10	150	60,000	600,000
	医療連携加算 (日) 4時間以上	1500	10	100	150,000	1,500,000		※医療連携加算は算定不可					
	医療連携加算 (日) 8時間以上	2000	10	100	200,000	2,000,000							
	医療連携加算 (日) 2人	300	10		18,000	180,000		医療連携加算 (日) 2人	1600	10	150	48,000	480,000
	緊急短期入所受入加算	180	10			0		緊急短期入所受入加算	180	10	300		0
	定員特例加算	50	10			0		定員特例加算	50	10	300		0
	送迎加算	186	10			0		送迎加算	186	10	300	22,320	223,200
	加算合計					5,910,000		加算合計					3,103,200
松戸市	松戸市短期入所補助金		10	300		0	松戸市	松戸市短期入所補助金		10	300		0
収益合計					7,941,900	収益合計					6,020,700		

稼働率と収益予測

稼働率	100%	300/300	7,941,900
	90%	270/300	7,147,710
	80%	240/300	6,353,520
	70%	210/300	5,559,330
	60%	180/300	4,765,140
やまぼうし実績	7%	21/300	555,933

福祉型短期入所 やまぼうしの収益

開設5カ月の状況

収入		
1人1日収入/円	28,526	
利用日数（平均）	2.7	
平均請求額	611,800	1か月（5カ月の平均）

短期入所基準費
短期利用加算（30単位）
単独加算（320単位）
医療連携体制加算（2000単位、1500単位、1000単位）

利用者の状況		
障害区分	平均	3
医ケア判定		36～45点

費用（1か月）		
給与費	3,100,000	
（内訳）	常勤看護師2、非常勤看護師1、介護職2、保育士1	
地代	410,000	地代、駐車場代
経費	971,000	水道光熱費、通信費等
	4,481,000	

収支 -3,869,200（月額）

松戸市医療的ケア児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金

目的

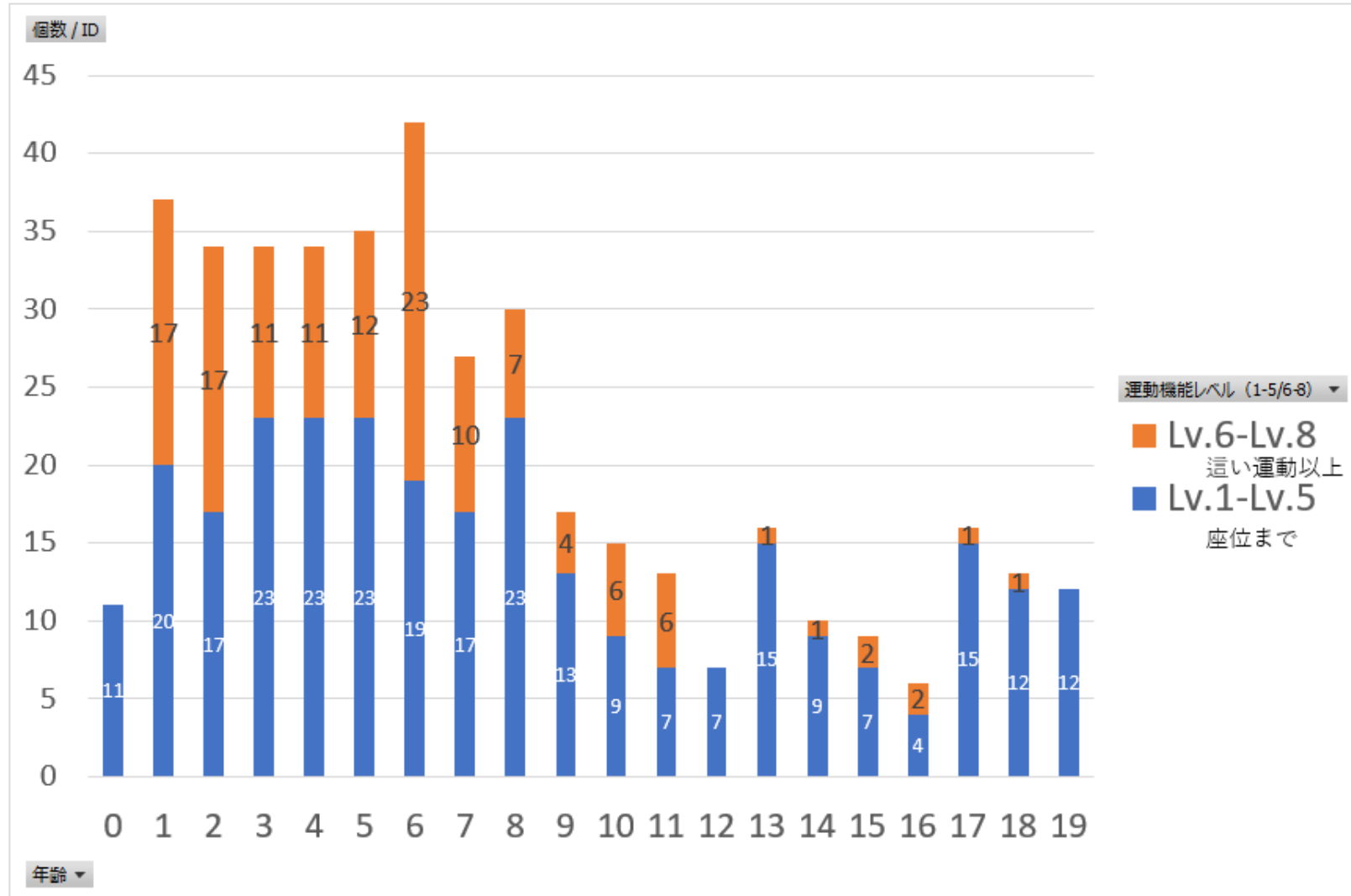
医療的ケア児者等を受け入れる市内の福祉型短期入所事業者に対して運営補助を行い、医療的ケア児者等を介助する家族の精神的及び身体的負担の軽減を図る。

補助内容

看護師の人員配置基準がない福祉型短期入所に対し、医療的ケア児者等の受入れを行った場合に、その看護師費用等の補助費用として下表を基準として支給するもの。

短期入所事業所の区分	利用者	補助基準額	利用日数上限
福祉型	医療的ケア判定スコア3点以上の医療的ケア児者又は重症心身障害児者等	5,000円	60日
	医療的ケア判定スコア16点以上の医療的ケア児者	7,000円	
	医療的ケア判定スコア32点以上の医療的ケア児者	12,000円	

動ける医ケア児ほとんどが10歳以下



動ける医ケア児は医ケアを離脱できる

	合計	動けるこども		動けないこども	
はるたか	262	89		173	
内) 0歳～8歳	180	74		106	
内) 気切		39	52.7%	60	56.6%
内) 気切離脱		14	35.9%	0	0.0%
内) 呼吸器		53	71.6%	98	92.5%
内) 呼吸器離脱		12	22.6%	1	1.0%
内) 9歳～19歳	82	15		67	
内) 気切		8	53.3%	42	62.7%
内) 気切離脱		2	13.3%	3	7.1%
内) 呼吸器		6	40.0%	46	68.7%
内) 呼吸器離脱		0	0.0%	1	2.2%

どんな子どもも地域で
安心してすこやかに
生活できる未来を
創造する

